



機械クラブだより ー第 26 号ー

2024 (令和 6) 年 9 月 1 日

◎ ご挨拶	2
機械クラブ会長 M ²¹ 玉屋 登	
◎ 機械工学専攻の近況	2
◎ 2024 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告 (2024 年 6 月 1 日)	3
◎ 2024 年度「先輩は語る」講演会 開催報告 (2024 年 5 月 8 日)	4
「とある機械エンジニアが鉄鋼業界で歩いた足跡」	
JFE スチール (株) 荒川 哲矢 氏	
ー 併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会 ー	
◎ M18 卒業 50 周年記念同期会報告 (2023 年 10 月 3 日)	6
◎ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG) 報告	
● 第 188 回コンペ報告 (2024 年 4 月 12 日)	7
● 第 189 回コンペ報告 (2024 年 6 月 7 日)	7

2024 年機械クラブ年会費納入者名簿 (8 月 18 日現在の中間報告) 別冊

◆ 機械クラブホームページのご案内 (URL : <http://ktcm-kobe.com/>)

機械クラブでは活動のようすを会員の皆さまにお伝えするため、ホームページに、各種行事の案内 および開催報告、クラス会報告に加えて、卒業生の方々による寄稿文を掲載しております。また、「機械クラブだより」のバックナンバーもご覧いただけます。神戸大学学歌、神戸高等工業学校校歌、寮歌など、紙面ではお伝えできない情報も充実しております。掲載情報を随時更新しておりますので、ホームページもご覧ください。

◆ E メールアドレス登録のお願い

機械クラブの活動状況はホームページでお知らせしています。E メールアドレスを登録いただきますとホームページの更新情報をいち早くご覧いただくことが出来ます。また、KTC からの各種案内もお届けします。この度、機械クラブホームページに「メールアドレス登録・変更」ボタンを設置し、手続きを簡素化しましたので是非ご利用ください。なお、従来通り機械クラブまでご連絡をいただいても結構です (メールアドレス : ktcm@ktcm-kobe.com)。また、年会費の払込用紙に E メールアドレスを記載して頂いても登録いたします。

◆ 財務部会からのお願い

年会費は **2000 円** です。複数年分 (5 年分等、任意期間可) の納入が払込手数料等の経費節約になりますので、できればよろしくお願ひします。会計年度は毎年 1 月から 12 月です。納入方法については別冊をご覧ください。

◆ 2023 年度行事のご案内

- 10 月 26 日(土) 神戸大学ホームカミングデイ
- 11 月 9(土), 10 日(日) 六甲祭
- 12 月 7 日(土) 第 2 回理事・代表会
- 3 月 25 日(火) 総会
 学士・修士 学位記授与式

◆ ご挨拶

機械クラブ会長 M②玉屋 登



平素は機械クラブの活動にご理解ご支援・ご協力を頂きありがとうございます。

2023年度総会(2024/3/26)は無事終了しました。また、機械工学卒業生と修了生への学位記授与式において機械クラブから学生表彰、その後の総会記念講演会を行いました。卒業生は、機械クラブ会員になり新入会員歓迎会を神戸大学国際文化学部食堂(旧教養学部食堂)で実施しました。初めての企画で機械工学専攻主催の卒業・修了歓送会と同時開催しました。(詳細はホームページに掲載)

なお、神戸高等工業学校同窓会は1925年11月17日に設立され、3科(建築科、電気科及び機械科)の同窓会で構成されました。この時の機械科同窓会は「機械倶楽部」の名称でしたが、1952年「神戸大学KTC機械クラブ」となり、2016年3月25日「神戸大学機械クラブ」に改称され、来年は、KTC並びに木南会(建築)、竹水会(電気)とともに発足100周年となります。このような永い歴史を記念してお祝いする機会を設けたいと思います。その節はよろしくお願ひ申し上げます。

機械クラブ活動は、会員を縦と横の糸で結ぶ拠点であり、人間の付き合いを深めるもので社会貢献にもつながります。このことにより自己を振り返り人間力を高めますので是非機械クラブ活動の執行部(部会員)に参画して頂きたいと思ひます。(リモート参加可)会員の皆様には、ご理解を頂きながら機械クラブ活動へのご参加とともに次のお願ひを申し上げます。

- (1) 機械クラブ行事への積極参加
- (2) 行事運営を担う部会員への参画
徐々に高齢化しているため、若手会員の積極的な参画をお願いします。希望される場合、会長若しくは部会員へご気軽に声をお掛け下さい。
- (3) 会費納入及びご寄付のお願ひ
機械クラブ会計は、繰越金が漸次減少しており、母校への支援を継続するには、大学への支援金を含め事業経費を支える年会費(2,000円)とご寄付が必要です。是非納入をお願いします。
- (4) 会員情報の連絡
連絡先メールアドレス、住所変更等の場合、機械クラブ(ktcm@ktcm-kobe.com)へ連絡をお願いします。この情報はKTCと共有しています。神戸大学では、無料の生涯メール(KU-アラム

ナイトID)のサービスを展開しています。通常使用するメールアドレスに追加すると神戸大学が管理するGoogle meet、Google driveなどのサービスを受けられ、同窓生との連絡・共有ドライブ活用により絆がより強くなりますので、利用をお勧めします。

(神戸大学コミュニティネットワーク;KU-Net 参照)

- (5) 連絡の徹底
クラス会、研究室並びに企業代表の皆様は、ご面倒ですが、機械クラブからの連絡を伝達するようお願いいたします。

今後も機械クラブの活性化に取り組む所存ですので、皆様のご理解・ご協力並びにご支援をお願いいたします。

文責; M②玉屋 登

◆ 機械工学専攻の近況

機械工学専攻長 横小路 泰義

毎日異常なほどの暑さとなっております。私の学生時代には大学の講義室にはまだ冷房装置がないところが多かったように記憶していますが、今では冷房装置がないと体調不良者が出そうです。地球の気温が確実に上がってきていることを実感します。

機械工学専攻の現在の体制を紹介致します。2023年度末に熱流体講座教授の富山明男先生が定年退職されました。また材料物理講座助教の小川祐樹先生、システム設計講座助教の永野光先生が他大学に異動されました。また、長い間お勤めいただいた事務職員の松岡香江さんが退職され、2024年4月より新たに春藤真美さんが着任されました。さらに2024年6月末日付で材料物理講座助教の寺本武司先生が退職されました。多くの先生方が退職・転出され、専攻にとっては大きな痛手ですが、新天地でのそれぞれの先生方のご活躍をお祈りしたいと思います。現在の構成表をp.3に示します。

教育研究活動に関しては、機械工学科では令和6年度入試から学部一般入試の前期日程と後期日程の定員比率を大幅に変更(前期71名、後期30名)したところですが、新しい定員比率での新入生が今年度入学してまいりました。定員比率の変更は、多様な資質を有する受験生にさらに幅広く受験の機会を提供し、これらの学生がお互いに個性を認め合いながら切磋琢磨して主体性と協調性が育まれるような教育研究環境を目指すためですが、今後は研究室早期配属制度も整備しながら、彼らの成長を見守っていききたいと思います。

以上本専攻の近況を報告させていただきましたが、今後とも機械工学科/機械工学専攻の教育・

研究活動にご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

◆ 2024 年度第 1 回理事会・代表会報告

M④ 中瀬古 広三郎

開催日時：2024 年 6 月 1 日(土) 10:00~11:30

開催場所：GoogleMeet によるリモート会議

出席者：18 名

議事概要：

1. 会長挨拶

本日は、お忙しいところ、ご出席頂きありがとうございます。本日の理事・代表会のリモート会議出席者は、18 名です。

3 月 26 日の総会では、質問があり議事保留としましたが、4 月 9 日に出席者 19 名の過半数により承認され、2024 年度の活動が開始されました。

この保留案件は、親睦会における参加費が質問対象になっております。従来から一人当たりの会員参加費は、会員と無料で招待する学生・教員の参加人数合計の割勘+アルファとしております。今後の運営も同様をお願いします。

また、総会でご紹介した機械クラブ名義の銀行口座の代表者変更手続は、4 月 24 日に完了しています。前財務部会長副島様から玉屋に氏名を変更し、登録印鑑は、個人印鑑から「神戸大学機械クラブ代表者の印」に改印していますのでご承知下さい。

さて、本年度の活動がスタートしております

が、KTC 代議員選挙の告示があり、機械クラブ選挙管理委員会を本年 9 月に設置する必要があり、平田様、谷様及び中瀬古様に選挙管理委員就任の了承を得、今後代議員候補調整を行います。平田委員長から KTC 会員へ調整を行いますのでよろしくお願ひします。また、機械クラブ運営に関して、現状の問題点を申し上げます。それは、年会費納入状況についてです。

年会費制は、井上元会長の時代の 2001 年度に導入され、当時約 1,000 名の納入者がありましたが、昨年度は、約 400 名になり、納入者は減少しています。

年会費のみでは機械クラブ活動費を賄いきれない状況になっております。このため 4 月 15 日には、「年会費納入のお願い文」を会員あて一斉配信させていただきました。

なお、会員の皆様には、ご理解を頂きながら機械クラブ活動へのご参加とともに次のお願いを申し上げます。

- (1) 機械クラブ行事への積極参加
- (2) 行事運営を担う部会執行部への参画
- (3) 会費納入及びご寄付のお願い
- (4) 会員情報の連絡、会員と結ぶ連絡手段としてのメールアドレス登録と連絡先等を変更された場合、登録・変更をお願いします。
- (5) 連絡の徹底

クラス会、研究室並びに企業代表の皆様は、ご面倒ですが、機械クラブからの連絡を伝達するようお願いいたします。

なお、来年・2025 年 11 月は、機械クラブ設立 100 周年になります。

◆ 機械工学専攻 構成表

(2024 年 8 月 1 日現在)

(機械工学専攻 HP : <http://www.mech.kobe-u.ac.jp/index.html>)

講座	教育・研究分野	教授	准教授	助教・助手	技術職員, 事務職員など	
熱流体	先端流体工学 (MH-1)	今井 陽介	片岡 武	石田 駿一	芳田 直征	春藤 真美 朝岡 美紀
	混相流工学 (MH-2)		林 公祐	栗本 遼		
	エネルギー変換工学 (MH-3)	浅野 等	村川 英樹	杉本 勝美		
材料物理	構造安全評価学 (MM-1)	阪上 隆英	塩澤 大輝		古宇田 由夫	
	破壊制御学 (MM-2)		田川 雅人	横田 久美子		
	構造機能材料学 (MM-3)	田中 克志	長谷部 忠司			
システム設計	機能ロボット学 (MA-1)	横小路 泰義	田崎 勇一 中楯 龍*		片山 雷太	
	センシングデバイス学 (MA-2)	神野 伊策	肥田 博隆	権 相暁		
	生産工学 (MA-3)		西田 勇			
先端機能創成学	ナノ機械システム工学 (MI-1)	磯野 吉正 菅野 公二*	本間 浩章	上杉 晃生	中辻 竜也	
	材料設計工学 (MI-2)	向井 敏司*	池尾 直子			
工作技術センター		技術職員：大槻 正人, 吉田 秀樹, 義澤 康男, 中辻 秀憲, 大和 勇一				

*: 医学研究科医療創成工学専攻

何らかの形で記念事業を検討しますので、関係者の皆様とともに事業内容について検討したいと思います。よろしくお願いいたします。

以上で私からの挨拶を終わります。

2. 2024年度各部会推進状況報告

[資料(機械クラブホームページに掲載)にもとづき報告]

3月の総会時に報告しました本年度の活動計画に対して現状を総務部会長から添付資料にて報告が有りました。計画通り進捗しており5月8日の「先輩は語る」会にてFORTEK、六甲おろしの自主活動にグループに対して活動支援金を贈呈しました。基幹座談会を6月29日、見学会を9月27日に開催する事で進めています。

3. 審議事項

役員の中で監事をM17柄谷様からM19小嶋様へ交代が有り提案され承認されました。(添付)

その他報告事項

1) 機械工学専攻の現況につき横小路専攻長から報告が有り 学生自主活動への機械クラブ支援への感謝が述べられました。本年度の入試から募集方法の変更があり後期試験の募集人員を30名に増加させました。来年度以降についても学生の多様性の為にも前期を減少させ後期募集人員を本年度の如く多くしていく予定。なお機械専攻事務室の担当が松岡様から春藤様に交代をしています。

2) KTCの現況につき白岡理事より報告があり、本年度新入生のKTC、KTCMへの入会率が微増しこれは校友会と同時手続きで徴収することによる効果とみています。

5月15~17日には498名もの参加で就職活動支援を実施して盛況でした(昨年は200名以下)

3) Web リモート会議につきましては今後とも会議・講演会運営や相互交流に活用していくわけですが大学側がGoogleツールを使用できるような環境にしていますので以下の対応を進める事を玉屋会長から報告されました。

・現在は年間22000円で機械クラブ用のZoom会議システムを契約しています

・神戸大学では学生及び卒業生が生涯メールアドレスを取得すれば大学のシステムを活用

してGoogleMeetの会議システムを無料で利用できる(会議のホスト利用者)

単にWeb参加の場合には誰でも参加可能。このシステムの利用方法は既に機械クラブの

HPに使用手引きを掲載しています。

以上からZoom契約を本年度で終了しGoogleMeet会議システムへ移行することを報告されました。

4) クラス代表選任の調整状況を玉屋会長から報告があり2014年(M62~)以降選任されていない状況を鑑み在校生に対して専攻科を通じて絆を強めるために選任をお願いしている。

現状は添付資料の如くですがまずは研究室代表という人選が2つの研究室から回答がありましたが引き続きお願いをしていきます。

5) 以上の報告に対して、会員の縦横のつながり強化、連帯意識向上に関する今後の活動提案が有りました。学年(クラス)全体の代表と言っても範囲が広すぎて漠然とした連帯になるのでやはり研究室を中心とした縦横連携を検討するのが良いとの意見がでましたので

別途検討会議を進めて行く事と致しました。

・機械クラブ内の過去(卒業生の在学時)を含めた研究室系譜を明確にする。

・過去もまとめを検討したり作成要望もありましたが完成には至っていない

・専攻長からは学部は過去も含めて必ず専攻科の組織(研究)構成図を必ず作成しており

先輩が作成された過去の物とこの毎年の構成図を連結すれば可能性はあるとの意見が出ました。

6) その他報告として機械クラブのHPのURLに関しまして昨今のサイト信頼性の担保の観点から下記の如く変更済みであることが報告されました

変更前; <http://ktcm-kobe.com/>

変更後; <https://ktcm-kobe.com/>

◆ 2024年度「先輩は語る」講演会

併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会、
講演会部会長 浅野 等 M³⁶

開催日時：2024年5月8日(水) 8:50~10:20

開催場所：神戸大学百年記念館 六甲ホール

司 会：浅野 等 教授

◎ 「先輩は語る」講演会

講師: 荒川 哲矢 氏 (JFE スチール (株))

演題: 「とある機械エンジニアが鉄鋼業界で歩いた足跡」

略歴:

1997年3月 神戸大学工学部機械工学科卒業

1999年3月 同大学院工学研究科修士課程修了

1999年4月 川崎製鉄入社, 現在: JFE スチール (株)

講演内容:

初めにご自身の略歴をご紹介された。大学・大学院時代は、熱流体系研究室に所属して、微小重力場における気液二相分離技術に関する研究に従事されていた。川崎製鉄入社後は西日本製鉄所に配属され、18年間主に電磁鋼板製造に関する業務に従事され、現在は東京本社で企画事業などに従事されていることが紹介された。

次に、鉄鋼に関する現状と今後の展望についてご説明いただいた。鉄鋼は強度を含めてまだまだ開発の余地があり、現状では理論的に到達可能な強度の1/3程度であることが紹介された。これまでの鉄鋼の進化の一例として世界的な塔の幅に対する高さが2.6(エッフェル塔)、4.2(東京タワー)、9.6(スカイツリー)と変化し、より細長い塔の建設が鉄鋼の進化により可能になっており、鉄鋼の進化は社会の進化につながる事が強調された。自動車分野においては、ハイテンと呼ばれる加工性が高く薄い高強度鋼板、低電力損失である電磁鋼板などが利用されていることが紹介された。また、鉄の価格は70円/kg程度でありアルミの約1/3であることから、コストパフォーマンスが良く、様々な分野で使われていることが紹介された。国内の需要は頭打ちとなっているが、世界的な需要は30年後には1.5倍に増えると思定されているとのことであった。

次に、JFE スチールについてご説明いただいた。JFE スチールは2003年に川崎製鉄とNKKが経営統合して誕生した会社であり、年間約2500万tの粗鋼生産量があると紹介された。西日本製鉄所には福山地区と倉敷地区があり、倉敷地区の南北間距離は神戸大学の六甲台キャンパスから六甲アイランドまでに匹敵する非常に大規模な製鉄所であるとのことであった。

次に、動画も交えながら鉄鋼の製造過程をご説明いただいた。鉄鋼の原料、高炉による銑鉄の取り出し、不純物除去や成分調整を行う転炉、圧延などが紹介された。一番薄い製品の厚さは紙の厚み程度とのことであった。写真や動画では伝わらないところもあるので、是非工場に見学にきていただきたいとのことであった。

次に、製鉄会社における技術系職種の業務やご自身のキャリアについてご紹介いただいた。技術系職種としては研究開発(素材開発, 利用技術開発), 製造技術開発, 設備技術開発があり、自分自身がどのような分野に興味があるか今のうちから少しずつ考えておいたほうがよいとのことであった。ご自身のキャリアとしては、入社から4年目までは工場に所属しており、2年目は製造ライン所属の掛員(主にトラブル対策)、4年目には技術室の掛員として新規設備の建設や操業改善に従事していたとのことであった。その後は、新規設備建設のための計画立案などに従事されてこられたとのことであった。このような、ものづくりの基本を習得してこられた結果、近年予算規模としては年間数百億円となる生産規模拡大のための新規工場建設の責任者を担当されたとのことであった。現在は、海外での製品製造にも携わられており、海外パートナー企業とプロジェクトを進めているとのことであった。

鉄鋼エンジニアの魅力として、製造設備が大きくダイナミックな製造プロセスに携わることができる点、自身で建設した設備が何十年にもわたって製品を製造するという点、プロジェクトの計画から製品製造まで携わることができる点であるとのことであった。鉄鋼業において仕事をしていく上で機械工学に関する基礎知識は必要不可欠であり、材料力学、機械力学、熱力学など機械工学に関する知識を深めて機械工学のスペシャリストになり、電気や化学などの他分野のスペシャリストと新しいものを作り上げてほしいとのことであった。また、海外の方と仕事するためには英語が必須であるため、英語を使う機会を意識して増やしてほしいとのことであった。最後に、大学時代は自分自身でコントロールできる時間が多くあるので、その時間を使って大学時代に何か打ち込んだと言えるものを築いてほしいとの思いが伝えられた。



◎ 機械クラブ国際活動奨励賞報告会

2023年度受賞者(所属学年は受賞当時)

川畑 祐人	君(大学院博士課程後期課程1年)
春名 進佑	君(大学院博士課程前期課程1年)
高森 遼	君(大学院博士課程前期課程2年)
中家 岳人	君(大学院博士課程前期課程2年)
前田 紗奈	君(大学院博士課程前期課程2年)
森本 龍人	君(大学院博士課程前期課程2年)

報告内容:

「先輩は語る講演会」とともに機械クラブ国際活動奨励賞報告会が併催された。まず、川畑君、

春名君から参加した学会の様子や、学会にて発表した研究内容の紹介が行われた。高森君、中家君、前田君、森本君については当日参加できなかったため、預かった資料の紹介を浅野教授から行われた。いずれの報告でも、国際会議において発表することにより得られた達成感が感じられ、学部・修士と努力することにより国際会議での発表のチャンスをつかめるといふ点や、発表の準備をする過程が大変であるが大事である点が強調されていた。学生生活を楽しみながら、弛まぬ努力を、という先輩学生からのメッセージであった。

◎ 学生自主活動支援金贈呈

最後に学生自主活動支援金贈呈が行われた。機械クラブ玉屋会長から学生フォーミュラチーム(FORTEK)およびレスキューロボットチーム(六甲おろし)に対して、支援金が贈呈された。

◆ M18 卒業 50 周年記念同期会報告

M18 卒業 50 周年記念同期会を 2023 年 10 月 3 日に神戸北野のホテル北野プラザ 六甲荘で 17 時から 3 年遅れで開催した。

案内はメールで 46 名に出し、36 名からの返信を得た。コロナ前は 40 名以上から返信を得ていたため、未返信の者がどうしているか気がかかり。未返信の 2 名からは年賀状が来て安心した。

M18 の 50 周年記念同期会は卒業の日に合わせて 2020 年 4 月 23 日に上記会場でコロナのこの字もない 2019 年 11 月から計画していたが、年が明けると新型コロナが始まり、学校は休校、オリンピックは延期になり、我々の同期会も 2020 年 3 月に延期やむなしとなった。M18 の節目の年には何かある。25 年目には阪神淡路大震災があり、幸い同期生の人的被害は無かった。50 年目には新型コロナウイルスで世界中がおかしくなった。

延期以降、毎年様子を見ていたが、もう待てなくなり、2023 年初めに 3 年遅れでの開催を決意した。幸いに新型コロナの 5 類移行で少し安心して集まることができた。待っていた 3 年の間にみんな後期高齢者となった。

開催案内の返事にみんなの近況を書いて頂いた。コロナ禍での外出自粛もあり、体を弱くする仲間が多くなった。体力の回復はなかなか難しいものですが頑張りましょう。

一方、コロナの自粛解除で旅行や孫の世話等体力がある者、また、体を直してゴルフのスコアアップに努力している者、農業に励んでいる者、

新たな勉強に取り組んでいる者、料理に目覚めた者など元気なのが半数以上はいる。

みんなの近況で奥様を亡くした者が 2 名、奥様の看病をしていると本人よりも相方が心配な状況の者も複数おり相方共々の健康を祈る。近況はみんなと共有できるように配信した。お互いの励みとして活用していきたい。

同期会へは 15 名が参加した。日程が合わなくやむなく不参加になった者も 4 名おり、過去に比べると少ないが現状では集まってくれたと感謝する。

会の最初は 2 年前にクラスで卒業後に最初に天国へ行った末包君への黙とうの時間、3 年前に会が開けていたら末包君も参加予定だったのにと無念な思いがよぎった。

その後、3 時間の宴会を始めた。談笑、個々人の報告で時間はあっという間に中締めの間となったが、集合写真を撮り終えたところで中締めの挨拶をしてもらうことなく、2 次会場へ移ってしまった。さらに 1~2 時間ガヤガヤと楽しい夜が更けていった。酒の量はめちやくちや減ったが賑やかさは変わらない。

会の 1 時間前にはみんな集まっていたので 5~6 時間の楽しい 1 日だった。

あと何回同期会として集まれるだろうかという懸念はあるができるだけ毎年やりたいということで、今回は 2024 年には多くが喜寿を迎える、秋がいいかな、温泉があるとこへ出かけるかなということで再会を誓い、また、今回会えなかった者と次回は会えることを願って別れを惜しんだ。

次回は 2024 年秋、大阪、奈良あたりはどうか、これから半年かけて調べます。

M18 の皆さんメールアドレスの変更があれば忘れずに幹事へ連絡下さい。世俗との付き合いを止めたという者も 1 割ほどいるが、それはそれとして返事だけは頂くようにお願いします。

また、元気でいて下さい。

(記:2024 年 1 月 M18 同期会幹事 副島宗矩)



漆崎 田中 菅野 重近 大西 平野 柴田
高橋 竹田 以西
倉多 関光 副島 幸田 谷
M18 卒業 50 周年記念同期会 2023.10.3. 神戸 北野 六甲荘

◆ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG)報告

I. 第 188 回コンペ報告

今年は年 4 回の開催となりますので、例年より 1 ヶ月早い 4 月の開幕となりました。絶好のゴルフ日和で、今大会も New Face 1 名を含む 15 名の参加者で盛大に開催できましたことを嬉しく思います。今年は年間ポイント制も導入し、盛り上げていきたいと思っておりますのでご協力よろしくをお願いいたします。

結果概要

開催日：2024 年 4 月 12 日

場 所：東条の森カントリー倶楽部 宇城コース

参加者：finisher 15 名

▶ 上位入賞者の成績

順位	氏名	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	大和敏郎	92	21	71	16
2 位	山田拓士	97	22.8	74.2	ダブル
3 位	岩出知之	90	11	79	9

参加者のコメント

- ・優勝者 大和氏：腰痛で思うようにプレーできなかったが、最近、少し調子が良くなってきましたので、これからもよいスコアが出せるように頑張ります。
- ・初参加 山田氏：以前から声がけいただきましたが、やっと参加することができました。今後は頑張って参加しますので、よろしくお願ひします。



後列：岩出知之 長谷川圭 松本啓史 中瀬古広三郎 大和敏郎 高橋久雄 山田拓士
前列：平尾雅男 菅野俊 柄谷祐司 市橋誠 國光英昭 谷民雄 重近實

第 188 回ゴルフコンペ集合写真

II. 第 189 回コンペ報告

今年 2 回となる第 189 回は、例年より 1 ヶ月早い 6 月の開催となりました。梅雨前かつ酷暑を避けた絶好のゴルフ日和で、今大会も新会員 2 名を含む 14 名の参加者で盛大に開催できました。年間ポイント争い白熱しており、後半戦 2 回も

盛り上げていきたいと思っておりますのでご協力よろしくをお願いいたします。

結果概要

開催日：2024 年 6 月 7 日

場 所：東条の森カントリー倶楽部 大蔵コース

参加者：finisher 14 名

▶ 上位入賞者の成績

順位	氏名	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	西下俊明	87	21	66	12
2 位	岩出知之	78	9	69	5
3 位	谷民雄	121	51	70	44

参加者のコメント

- ・優勝者 西下氏：昨年の 7 月ぶりの参加で、その間、ペースメーカー挿入の手術をしました。するとパットの際、心臓がドキドキしなくなり調子がよくなりました。これからも参加できるように健康に気を付けたいと思ひます。
- ・初参加 中瀬氏 (M30)：ソニーに 35 年勤務し退職しました。在職時はβマックスや 8 ミリビデオ、業務用カメラなどの業務に携わり、15 年間海外赴任もしました。現在は京都府長岡京市に住んでおり、同期の稲塚さんたちと交野カントリー倶楽部でゴルフを楽しんでいます。次回も参加したいと思ひますので、よろしくお願ひします。
- ・初参加 稲塚氏 (M30)：ダイキン工業に 41 年勤務し、現在も淀川製作所に勤めております。メールマガジンでこのゴルフ会の存在を知り、同期の中瀬さんと参加することにしました。現在は大阪府富田林市に住んでおり、交野カントリー倶楽部でゴルフを楽しむメンバーもう 1 人も誘って、次回以降も参加しますので、よろしくお願ひします。



後列：中瀬秀雄 中谷彰宏 平尾雅男 重近實 谷民雄 稲塚徹 菅野俊
前列：國光秀昭 山田拓士 大和敏郎 市橋誠 西下俊明 高橋久雄 岩出知之

第 189 回ゴルフコンペ集合写真

Ⅲ. 今後の予定

・第 190 回:9 月 13 日 東条の森カントリー倶楽部
東条コース

【機械クラブだより 第 26 号】

発行所：神戸大学機械クラブ
発行人：会長 玉屋 登
発行日：2024 年 9 月 1 日
所在地：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学大学院工学研究科
機械工学専攻事務室内
Tel： 078-803-6152
E-mail：kcm@kcm-kobe.com
URL： <https://kcm-kobe.com/>